

第20号

有機健康 つうしん

遠赤青汁通信 (H23.8.1 発行)

がんばれ日本！思いはひとつ。
心より復興を願っています。

遠赤青汁株式会社

〒791-0398 愛媛県東温市則之内甲2225-1
TEL フリーダイヤル **0120-148-162**
ホームページ <http://www.enseki.com>

三月十一日に発生した「東日本大震災」において、被災された皆様およびご家族を亡くされた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

弊社にも何かお役に立てることはないかと思ひ、社内で義援金を集め、また被災地で野菜を食べることが難しいとお聞きし、愛媛県を通じて青汁粒をお送りさせていただきました。

皆様が復興に向けて頑張つていらっしゃる姿に勇気をいただいたいます。今後も私たちがお手伝いできること、お力になれることを考えて実践してまいります。社員一同、皆様方の健康と、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

代表取締役
高岡照海



**皆様の幸せと平和を願って
陽光は咲き続けます。**

3月3日から9日の日程で、タイとカンボジアに平和の桜、陽光の植樹に行つてまいりました。

カンボジアは昨年に続き、二度目の植樹となります。ご存じのとおり、タイ、カンボジアともに戦争の激戦区でした。多くの日本人が亡くなっています。今回は、カンボジアのバタンボン州とタイ・チェンマイ県を訪れました。



陽光桜の苗木を1000本寄付させていただきました。バタンボン州知事と高岡



陽光の苗木を植え、水をかけていきます。
「必ず咲いてくれよ」1本1本想いを伝えます。



タイ・ビルマ方面戦病死者追悼之碑にて。
戦地に残る御霊を弔います。



慰霊を終えて、バーンガート高校の校長先生
達と。校長先生には桜の絵本も贈呈。

「元気で桜のもとに帰ってこい」
そう送り出した亡父高岡正明氏の教え子達にも、この想いが届くことを願つてやみません。

毎回、戦地で亡くなられた方々の慰霊にと訪れています。今回はその想いに賛同された靖国神社の宮司様にもご同行いただきました。桜の花びらをかたどつた紙ぶきが舞う中、清めの塩、詔など御霊を弔うお姿に感動しました。

タイだけでなく当時のビルマ（現マニャー）など各地から収集された遺骨は、現在チェンマイ県メーワンの郡のバーンガート中高校敷地内に慧燈財団（えとうざいだん）が建立したタイ・ビルマ方面戦病死者追悼之碑の中に収められています。その数約一万八〇〇〇名の日本兵士およびタイ人軍属がこの追悼之碑の中でも静かに眠っています。

「ビルマの竖琴」という映画で日本でも有名です。仏への信仰も厚く、敵味方分けへだてなく弔い続けていただいています。



掲載許可番号：G20110401-00636

**愛媛新聞に陽光の特集記事が
掲載されました。**

地元愛媛新聞に「平和の使者 陽光」と題して、十回の連載が掲載されました。

以前から陽光桜が平和への想いで作られた桜であることや、世界へも植樹されていることなどを「ご存じだった記者の方が、ぜひ皆様に紹介したい」と連日取材にいられて実現しました。

高岡夫妻をはじめ、陽光を育てるのに協力した近隣の方々などからも話を聞いていただきました。精力的に取材していただき、高岡も想いに応えようと一生懸命。深夜まで話すこともありました。その成果もあり、とても想いの深い記事となりました。

二週にわたり紹介された間に、高岡夫妻はカンボジア・タイに植樹に出かけました。その間にも、記事を見た方々から「新聞見たよ。お父さんは偉かったねえ」「お父さんが頑張っていた姿を思い出したよ」とお声を頂戴しました。改めて故人高岡正明氏の、生涯を賭して陽光を作上げた想いを感じるものとなりました。

感謝

※記事は、青汁ブログからもご覧いただけます。
二〇一一年二月十二日～三月五日掲載
<http://www.enseki.com/blog/?m=20110222>

農地再生に

挑む

耕作放棄地を農場に再生し、今まではケールを主体に、にんにく、かぼちゃと育ててきました。有機栽培で育てる野菜は貴重で、昨年からは農園から直接、野菜の出荷も始めています。

少しずつ育てる品種も増やしているのですが、なかなか販売するレベルの野菜を育てるのは容易ではありません。管理の方法も野菜によって違い、乾燥させて保存するもの、そのまま生で出荷するものなどさまざまです。乾燥がうまくいかずに腐ってしまうという失敗もありました。野菜も生き物ですから。

お客様からのリクエストもあり、今年はじゃがいもと玉ねぎの栽培にチャレンジしました。イモ類は、通常やせた土地で育つといわれます。有機圃場は土を育てるためにしっかりと堆肥を入れているので、ちゃんと育つだろうか、水はどのく



土から掘り出したじゃがいも。鈴生りとはまさにこの事。ちょっといただいて食べましたが、あまくておいしい、いいお芋でした。



はさみを使って、ひとつひとつ丁寧に作業していきます。葉を落とし、根を切っていきます。



作業する女性の背中にも帽子が!服を着込んでいても背中が焼けていくので、暑さ対策です。



「農地再生に挑むでは、放棄された農場を再生し、有機圃場として生まれ変わる様子をシリーズとしてお伝えしています。」



比較的大きな私の手でも、ビッグサイズがわかります。まるまると育ちました。

をカット、根も一緒にカットしていきます。ひとつひとつ手作業で行います。機械でカットする方法もありますが、玉ねぎは傷がつきやすいのです。掘り出す時に痛んだものも、この時に選別してしまいます。

初めて作った玉ねぎは、かなりのジャンボサイズになってしまいました。野菜を直接販売する際には、サイズが重要になります。MやLサイズが好まれます。今回のサイズはL。もう少し早く収穫してもよかったのでは?と担当者に聞くと、「雨が続いたので収穫するタイミングがずれてしまった。今回で収穫の雰囲気があったので来年はきれいに作れるよ」と自信をのぞかせていました。テスト的に栽培しながら成長の具合や、注意するポイントなどを日々記録していきます。

次はにんにく?栽培への意欲も高まります。新しい野菜を育てる中にも、今までの経験が役立ちます。今後も新しい品種の野菜に挑戦していきます。ご期待ください。

木下さんの

ゆづぎの話「有機にんにくの芽」出荷



にんにくの芽の出荷準備をしています。

にんにくの芽は、収穫したばかりだと、曲がって反りが出てしまい、長さを揃えようと思ってもうまくいきません。そこで、反りを取りながら、冷蔵庫で保存します。

注文を得て、出荷準備。重さを量って袋詰めしていきます。にんにくの芽の出荷作業は6月がピークで、毎日注文が入り首都圏の大手スーパーやネット通販会社へ出荷されています。

にんにくの芽の出荷は、もう3年目を迎え、「やわらかくておいしい」とお客様からも大人気です。しかも有機栽培のにんにくの芽。



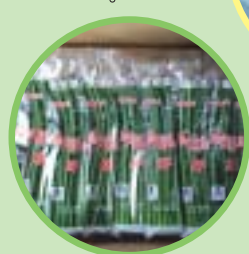
収穫したばかりのにんにくの芽。かなり曲がっています。

冷蔵しながら姿勢を直していきます。背筋のばし?



きれいにそろえて出荷。お近くのスーパーで「有機のにんにくの芽」探してみてください。

巨大な冷蔵庫のある場所で、作業をしていますので、外の暑さを感じません。まだ足元が冷えるくらい寒い感じでした。



その冷気を感じてか、作業場にシマヘビが乱入(言葉にならない驚き)。「あんだ、あっちおいき」木下さんが、さっさと棒で払いながら追い出していました。さ、さすがです。逃げ惑う私を、木下さんが笑い、皆も笑います。現場の女性は強い。ああ...

EVENT

「アグリフードEXPO」

(二〇二一年二月十三日～十五日)

2月に大阪（ATCアジア太平洋
トレードセンター）で開催された「ア
グリフードEXPO 2011大阪」
に出展してきました。

国産農産物や畜産物、その加工品
を紹介する展示商談会です。



新商品の「ショウガ黒糖」もお湯で溶かし
てお勧めします。この時期はまだ寒いので、
ショウガで体も温まりますね。

今回は新商品の遠赤ケール
SUPER GOLDとショウガ
黒糖の試飲を行いました。開催
前日は雪の降るような寒い日で
したが、ショウガ黒糖をホット
で作り、温まっていたいただきまし
た。

また、企画中の野菜塩（「健康
味」）も参考出品。ケールやゆず、
黒にんにくなど、色合いや風味
豊かなお塩も楽しんでもらいま
した。こちらはみなさんの意見
を参考に5月に販売をスタート
いたしました。今後も様々なバ
リエーションを検討しています。
皆様、ぜひ展示会におこしくだ
さい。貴重なご意見をお待ちし
ております。



産学官連携スタート！

愛媛大学と連携した地域ブランドへ参加します！



eatechブランドマーク

eatechとは

「食（べる）」をさすeat+「科学技術」
「食品加工技術」「情報加工技術」の
technologyを組み合わせた造語。Eat
technology、まさにテクノロジーを
食べよう、です。

これまで、愛媛大学農学部、遠赤青汁をはじめ愛媛県内の民間各社が集まり、
社会連携推進機構の研究協力会の一つとして「食品機能研究会」を立ち上げ、
機能性食品に関する産学官の情報交換の場として活動を続けてきました。

今回、産学コラボブランドとして「eatech（イーテック）」を立ち上げまし
た。「連携」と「信頼」をキーワードとし、産学の共同研究によって生まれ
る安心・安全な食品を核として、愛媛県の振興や産業の発展につなげて行こ
うという取り組みです。まずはeatechブランド商品の開発を目指します。



四国八十八箇所・十番札所 切幡寺（きりはたじ）

徳島県阿波市市場町切幡129



この地での修行を終えた弘法大師は、破れた着物を繕おうと麓の民家に布を
求めました。このとき機（はた）を織っていた娘が、その織りかけの布を大師
に布施します。大師がそのお礼に千手観音
を刻んで、娘を得度させ灌頂を授けたところ、
彼女は七色の光を放って千手観音にその姿
を変えたと伝えられています。これら二体
の千手観音がこの寺の本尊として安置され
ています。



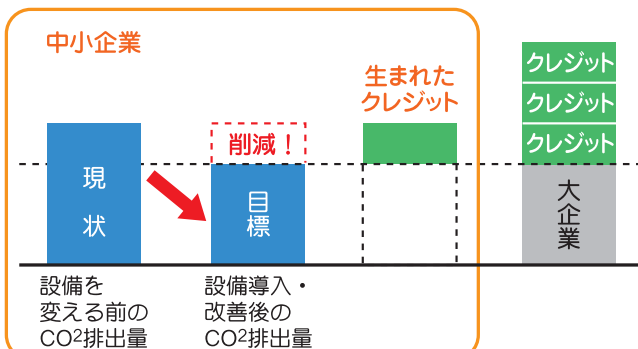
この寺の本堂の横手方向にそびえたっている大塔は、豊臣秀吉の菩提を弔うため、その
嗣子秀頼が堺の住吉神社に寄進したものです。明治の廃仏毀釈の際、当時の住職の働きか
けによってこの寺に移築されており、今でも見る人を圧倒させています。当時の住職の熱意、
作業にあたった職人の苦勞がしのべれます。

国内クレジット活用で地域のCO2削減を応援します。

●国内クレジットってご存じですか？

国内クレジット制度は、京都議定書目標達成計画（平成二〇年三月二十八日閣議決定）において規定されている、大企業等による技術・資金等の提供を通じて、中小企業等が行った温室効果ガス排出削減量を認証し、自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために活用できる制度です。

CO2削減量を新たなクレジットと考える

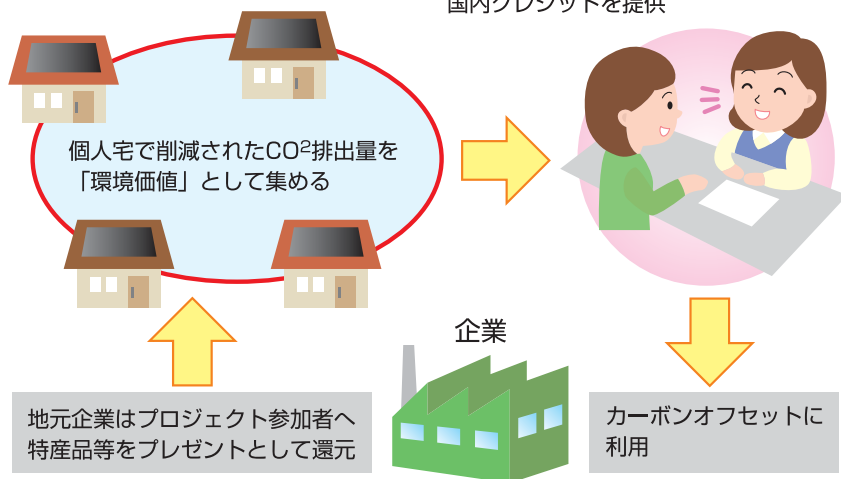


買い取った削減量で目標を達成！

大企業はエネルギーをたくさん使います。二酸化炭素の排出量も増えます。それらを自社内だけで削減することが難しいため、他の中小企業が努力して削減した量を買って削減することができるという仕組みです。

東温市民が参加

東温商工会で取りまとめ地元参加企業へ国内クレジットを提供



東温太陽の恵みスマイルプロジェクト

●遠赤青汁の取り組みとして
遠赤青汁(株)では、本年より「東温太陽の恵みスマイルプロジェクト」に参加しお客様と共に、温暖化対策を考えていきたいと思っています。
まずは大感謝祭。期間中商品を購入していただいたお客様に、お買い上げ金額に対して削減量を表示してまいります。
実際、どのくらい削減したのか量を表示したシールを納品書に添付させていただきます。こちらでご確認ください。ご協力、よろしく願います。



太陽と笑顔が循環するシンボルマーク

●東温市の太陽光システム設置率は県内一番。

東温市は太陽光発電設置率が愛媛県内一番。愛媛県1.66%、四国1.79%、全国1.57%。太陽光発電システムの設置を積極的に推進しています。

東温市は個々の家庭で削減される二酸化炭素排出量に着目し、全国にさがけ「東温太陽の恵みスマイルプロジェクト」をスタートしました。

〈東温太陽の恵みスマイルプロジェクト〉

家庭で活用されずに残っている太陽光発電システムの「環境価値」を取りまとめ、有効活用。取りまとめた「環境価値」を排出権（クレジット）としたものを東温市商工会が買い取り、市内のイベントや商工会の会員が排出するCO2のカーボンオフセットに利用。
協力していただいた市民の皆様には、収益の分配として市の特産品等で還元し、市内の経済の循環に貢献してします。
環境価値の地産地消を目指す事で、地域経済を活性化、環境と経済の両立を目指す。

新商品

～健康味～

野菜のお塩

食卓調味塩としていろいろな料理にお使いいただけます。

▲ サラダやパスタなど、料理にひと振り！

▲ 天ぷらのつけ塩に！

▲ 肉料理や焼き肉、焼き鳥に！

3本セット 〈組み合わせ2種〉

有機ウコン塩+

有機ケール塩+有機ゆず塩 ￥2,625

黒にんにく塩+

有機ケール塩+有機ゆず塩 ￥3,360

5本セット

ギフト包装いたします！

黒にんにく塩

シヨウガ塩

有機ウコン塩

有機ゆず塩

有機ケール塩 ￥5,250